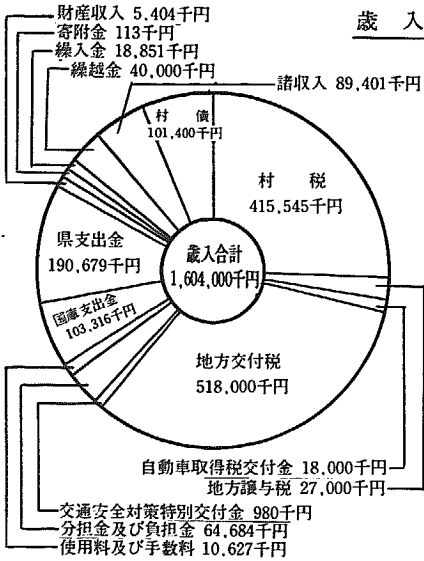




きびしい財政 昭和56年度

住みよい

昭和56年度一般会計予算の状況



国民健康保険特別会計	378,835千円
水道事業会計	110,373千円
農業共済事業会計	109,559千円
温泉集中加熱事業特別会計	60,414千円

国民健康保険
特別会計

国保特別会計の予算総額は三七八、八三五千円ですが、歳入

農作物共済については、近年その事故発生は極めて少なくなっておられますが、この傾向をさらに助長するため、航空防除の組織を強化するなど、適期散布と事故防止に万全の策を講じ、農家負担の軽減をはかっていくほか、本年度から

農業共済
特別会計

水道事業
特別会計

昨年度で石瀬増庄ポンプ場改良工事を完工させたことにより、一応、村内全域にわたり安定供給体制が確立されたことから本年度は浄水場構内の舗装と石瀬第一増庄ポンプ場の排水施設を施工します。

温泉集中加熱事業
特別会計

この事業が岩室温泉観光に果たしている大きな役割を考えると、可能な限り経費の節減とあわせて温泉供給方法の効率化を追求し、経営にあたってまいります。

以上のように述べ、行政執行のすべての動き、すべての方向を郷土繁栄、住民福祉の一点に集中し、岩室村の限らない発展の可能性を信じつつ前進してまいります。

事情のなかで精一杯の努力を 一般会計予算

村づくりに16億400万円

昭和56年度 施政の方針



昭和五十六年度一般会計予算の規模は前年比二・八％増の十六億四千万円で編成しました。これは、昨年度当初予算が村民体育館建設費三億六千四百万円を含んでいたことを考えあわせると、実質三〇％以上の伸び率となり、見込み得るものはすべて計上したというところをご理解いただきたいと思えます。そこで、本年度は次の五項目を重点施策として掲げ推進してまいります。

新農業構造改善事業で
米麦兼用乾燥施設と
野外緑地広場を整備

二一四・六ヘクタールという未曾有の減反目標面積配分を受けている第二期水田利用再編対策への対応として、麦の集団転作を促進するため、岩室村農協を事業主体に既設のライスセンター乾燥調整施設を米麦兼用の新施設に取り替えます。一方、自然活用型、地域環境整備事業として、丸子山、金比羅山周辺のすぐれた自然環境を活かし、野外緑地広場や、全天候型テニスコート三面の造成を予定し、天神山、松岳山を含めて一大園地を形成、憩いの場として整備いたします。

道路改良
整備の促進

道路の整備改良は、住民生活に最も関わりのある重要課題であることから、これまで毎年の継続施策として整備をはかってまいりましたが、本年度は、改良六路線（一、二〇メートル、三八、二〇〇千円）、舗装十八路線（一、六五四メートル、二五、三六七千円）、維持工事五ヶ所（九、七〇〇千円）、交通安全施設（二、五〇〇千円）を計上しました。これによって、農村総合整備モデル事業の進行とあいまって一層整備されることとなります。

教育施設の
整備充実

老朽化の進んでいる三小学校の校舍改築問題は、近い将来どうしても取組みなければならぬ重要課題であり、そのため、条例によって基金を設け、可能な限り資金造成につとめ対応することになりました。また、国庫の補助が許されれば村民野球場とテニスコートのナイター施設も整備する計画です。

人間ドック
検診の奨励

健康は幸福の基盤であり、何も

のにもかえがたい財産です。そのため、病気の早期発見、早期治療、健康の保持増進に役立てようというねらいで四十五歳から五十五歳の一般村民男女を対象にして、人間ドック検診料個人負担分の二分の一を助成することにしました。

もちろんこのほか、治山治水対策、国土調査事業、海岸保全、商工観光の振興、消防々災、交通安全、保育園対策、社会福祉対策などについても意を注いでまいります。

出の概をなす療養給付は二二・六％、高額療養費が三〇・八％増と、更に大巾な増加が見込まれるため、実質九・〇％増にあたる被保険者一人当たり平均三三、〇六二円、世帯当り一〇、〇五九円という県下最高水準の保険料負担を求めざるを得ません。制度上止むを得ない措置としてご理解をお願いいたします。

温泉集中加熱事業
特別会計